

留萌ロータリークラブ 会報

2006▶2007
WEEKLY REPORT

会長/中川 勝美 幹事/対馬 健一



率先しよう

2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ

留萌ロータリークラブ会長テーマ
魅力ある明るく楽しいクラブは、
ロータリーを知り、
会員家族との親睦から

No. 2273 第34回 3月28日

プログラム

●本日

情報夜間例会 情報委員会担当
テーマ「いきいきロータリー家族」

会員誕生日

3月28日 行徳 幸治
3月31日 渡邊 裕久

結婚記念日

3月31日 武井 哲
4月1日 笠原 正昭

●次週予定

情報夜間例会 発表

ご夫人誕生日

4月1日 川上恵津子

出席委員会報告

前例会

会員総数.....51名
出免会員.....7名
欠席会員.....10名
出席率..... 77.27%

前々回

第31回 2月28日
欠席会員.....13名
メイクアップ.....10名
修正出席率..... 93.20%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F



会長報告

- 今週の17日・18日の2日間、函館にて会長エレクト研修セミナー「PET」が開催されます。関野エレクトさん、遠い所ですが、気を付けてお願いします。
- 次週例会は法定休日のため休会です。お間違えないように。また、28日の例会は情報委員会による夜間例会で、慶祝のお祝いも兼ねています。場所は石亭です。情報委員会と親睦委員会の皆さんよろしくお祈いします。

へ第3回目の米山功労者のメダルが届いております。

- 3) 先週もご案内致しましたが、旭川西RCの創立50周年記念式典(4月14日)の最終登録をいたします。登録いただける方は幹事まで。

会報受領先

・砂川RC 1810号 ~ 1813号

ゲスト

北海道留萌支庁

参事 濱口登代喜 様



幹事報告

- 1) 萌っ子春待里実行委員会より礼状を受領しました。
- 2) ロータリー米山記念奨学会より、立山会員



委員会報告

被選理事会

山本次年度幹事
先日皆様にFAXを差し上げましたが、日時

の変更がございます。被選理事会及び被選クラブ協議会を、3月26日午後6時30分、午後7時より開催いたします。後ほどFAXにて出欠を取りますので、よろしくお願ひします。なお、委員長さんが欠席の場合は副委員長さんが出席お願ひします。

情報委員会 高田委員長
会長報告でもありましたが、次々週の例会は情報夜間例会となっております。午後6時30分光風館石亭で、ご家族合わせて50名以上の出席がございます。席順となる班編成は当日会場にてお知らせいたしますので、よろしくお願ひします。

次年度増強委員会 高田委員長
先週も皆さんのテーブルに職業分類の表を配置しておきましたが、今週も置いてあります。先週の例会を欠席された会員さん等、分類表が間違いないか確認お願ひします。

3分間情報

情報委員会 河部委員
ケンタッキー・フライド・チキンとロータリー

全世界の主要な都市に必ずと言っていいほどあるケンタッキー・フライド・チキンの店頭では、夏冬通じて白いモーニングを着て、眼鏡をかけた、でっぷり太った白髪のカーネル・サンダースが客を迎えてくれます。この眼鏡は本物の度入りの老眼鏡なので、眼鏡を忘れた人には便利らしく、無断で拝借する人が後を絶たないそうです。

1985年の阪神優勝にまつわるカーネル・サンダースの呪いの話は有名です。優勝に熱狂した余り、阪神ファンがバースに良く似たカーネル人形を胴上げして、道頓堀川に落としてしまいました。いつものごとき熱狂阪神ファンの暴挙ですが、川へ投げ捨てられたカーネル人形の呪いが、阪神にふりかかって、それ以来最下位の常連となり、実に20年近くの間、優勝から遠ざかることになったという話です。

彼にフリーメーソンの烙印を押す人も多く、その証拠に、このカーネル人形の左の襟に、フリーメーソンのバッジが着いていると言うのですが、目を凝らして良く見ると、それはフリーメーソンのバッジではなく、紛れもないロータリーのエンブレムなのです。そうです。彼はれっきとしたロータリアンなのです。

ハーランド・サンダース Harland Sanders は1890年9月9日にインディアナ州南部のヘンリービルで生まれました。6歳の時に父親が亡くなり、母親が工場に働きにでたため、3歳の弟と生まれたばかりの妹の面倒をみなねばなりません。母親の代わりに三度の食事の支度をしたために料理の腕前をあげたことが、後の彼の運命に重要な影響を与えることになったのです。6歳の時に一人で見事なパンを焼き上げたことが、彼の少年時代の有名な逸話として残っています。

小学校に通いながら、10歳から近所の農場で働き始め、中学を中退した後、16歳の時に年齢を偽って軍隊に入りましたが、これが露見したため2ヶ月で除隊になります。その後サザン・パシフィック鉄道に入社して、修理工、ボイラー係、機関助手、保線係を務めました。19歳の時に解雇され、ノーフォーク&ウエスタン鉄道、ペンシルバニア鉄道と渡り歩いた後に、保険会社の外交員になります。

1912年22歳の時に、インディアナ州ジェファーソンビルに転居し、フェリーボートの経営に携わり、その後、アセチレンガスのランプ販売、タイヤのセールスを経て、1919年、29歳でケンタッキー州ニコラスビルでガソリン・スタンドを経営します。このガソリン・スタンドは徹底したサービスによって大いに繁盛して、やっと安定した生活を送ることができるようになりました。なお、1920年、29歳の時に、ジェファーソンビル・ロータリークラブのチャーターメンバーとして入会します。

1930年にケンタッキー州コービンにガソリン・スタンドを移転したサンダースは、コービン・ロータリークラブに移籍しました。「自動車には良質のガソリンが必要なと同じように、ド

ライバーにも良質な食事が必要である」と考えたサンダースは、ガソリン・スタンドに併設して6席の「サンダース・カフェ」を開店し、手製のフライド・チキンを出しますが、これが美味しいと大評判になって、長蛇の列ができるほど繁盛しました。そこでサンダースは、レストラン事業に専念するために、ガソリン・スタンドを売却して、道の反対側に142席の本格的なレストランを建設して、「ケンタッキー・フライド・チキン」の商標で、大々的なレストラン経営にのりだします。

1935年、ケンタッキー州知事から、おいしいフライド・チキンを提供した功績をたたえてカーネルColonel陸軍大佐の名誉称号を受けました。これが、カーネルというニックネームがついた由来です。

カーネルがビジネスの基本にしたのは、次の四つのルールだったと記載されています。

1. そのビジネスに嘘偽りはないか
2. そのビジネスは関係するすべての人に公正か
3. そのビジネスは良好な人間関係を作っていくものか
4. そのビジネスは関係するすべての人にとって有益なものか

すなわちカーネルは、ロータリーの四つのテストに照らしながら事業を営んでいたわけです。カーネルがロータリーに入会したのは、この四つのテストに魅せられたからだという記述がありますが、彼がロータリーに入会した1920年には、まだ四つのテストはできていませんので、この記述は明らかな間違いです。

1952年、高速道路が完成して、コービンの道路事情が急変して、あまり自動車が来なくなったのを機会に、レストランの廃業を決意しますが、フライド・チキンの製造方法を教えてフランチャイズ化する方法を思いつき、ユタ州のハーマンズ・カフェで第一号店の契約を取ることになり、その後10年間に全米の600のレストランと契約を結ぶことができました。

フランチャイズ事業の契約内容は、清潔なレストランであること。圧力釜の性能の差で

味が変わるのを防ぐため、圧力釜とタイマーをセットしたものを35ドルで購入すること。フライド・チキン1ピース当たり4セントのロイヤリティを支払うこと。スパイスの中身は秘密にして調合済みのものをロイヤリティに含めて渡すことでした。

このフランチャイズ事業が評判になってテレビに出演依頼がきました。冬だというのに白いモーニングを着て出演したのが大うけして、これがその後、カーネル人形として、ケンタッキー・フライド・チキンのトレード・マークとなりました。

1960年に、本拠地を交通の便のよいルイビスに移転し、同時にシェルビービル・ロータリークラブに移籍しました。1964年、74歳の時に、200万ドルでジョン・ブラウンに権利を売ってリタイアしましたが、その後ナビスコを経てペプシコーラに売却されたときの価格は8億4000万ドルとされています。

カーネルがフランチャイズの仕事で飛び回った距離は40万キロ、地球を10週する距離でした。四つのテストを実行して、二度のビジネスを成功させた偉大なロータリアン、カーネル・サンダースは1980年、90歳で白血病のため逝去しました。
(炉辺談話 285 より)

ニコニコBOX

- 幼稚園の頃からロータリー青少年剣道大会に参加させていただいていた姪が、志望大学に合格いたしました 田中会員
- 麻雀大会準優勝、ゴルフ年間ネット1位になりました 阿部会員
- ゴルフ総会で色々景品が当たりました 山本会員
- 先週BOX入れ忘れまして またゴルフ納会欠席して申し訳ありません 中川会長

前 回	861,000円
今 回	38,000円
累 計	899,000円



プログラム……………

「支庁制度改革について」

北海道留萌支庁

参事 濱口登代喜 様

本日は先週の道州制に続き、支庁制度改革についてお話をさせていただきます。

前回の道州制の説明でも道州制で最も重要となるのが、基礎的自治体の市町村の役割や、体制の強化であると述べましたが、それに関係して避けて通れないのが市町村合併の問題でもあります。また本日のテーマである支庁制度改革も市町村合併が進む事を前提にしている面もございます。このような事から、本日の支庁制度改革の説明に入る前に少し市町村合併についてお話をさせて頂きたいと思います。

市町村合併の必要性については、前回の道州制でも説明した少子化などの地方自治体を取巻く環境の変化があげられます。道としては市町村合併についての考え方として「市町村合併推進構想」を作成し、皆様に普及版をお配りしています。この構想の中で最も関心と呼ぶと思われるのは、具体的な合併市町村の組み合わせの問題であり、道としてこの組み合わせを決めるに当たっては、あくまで客観的な基準に基づいて組み合わせを決めています。具体的には、市町村の結びつきの状況をみるクラスター分析、

目標とする人口規模3万人、地理的特性への配慮として最大80分、の3つの基準で組み合わせを決めています。これにより全道で43の組み合わせとなり、この対象外の市町村17を含めると、構想通りいけば道内の市町村が180から60の市町村となり、3分の1の市町村となる事になります。ちなみに留萌管内の組み合わせを見ますと、南部、中部、北部のそれぞれ3市町村づつの組み合わせとなっています。これは前回の合併協議会にて不調に終わった組み合わせではありますが、先に説明したとおり3つの客観的な基準で整理した結果であり、地元でこれと違う組み合わせで協議が進むのであれば、最大限自主的な取り組みを尊重し、協議が整うようであれば道の構想の組み合わせを変更したり、

追加したりして対応することとしています。

市町村合併についてはこの位にして、本日のテーマである支庁制度改革についてお話をいたします。支庁制度改革は、これまで何度か話題に上がりましたが改革するまでには至らず、現在の14支庁として存在しています。では、現在の14支庁の原型はというと、明治43年に形作られその後1世紀近く変わってはおりません。その間、道路、交通網、情報手段など世の中の状況は大きく変わり、地方自治を巡る環境も、地方分権改革（道州制、市町村合併など）の流れが加速してきています。当然支庁制度改革を論議する場合にも、市町村合併や道州制を抜きには語れなくなっています。

現在の支庁の課題として上げられるのは、地方分権への対応、縦割りの弊害、本庁支庁の二重行政、支庁組織、職員の意識、さらには所管区域の妥当性や行政の効率性などが上げられます。これらを踏まえ、道州制の導入を視野に入れた将来の支庁の姿を明らかにし、地域主権型社会の実現に資するための支庁制度改革を実施する事をこの改革の趣旨としています。またこの地域主権型社会では、地域の総合的な行政主体は「市町村」とし、「補完性の原理」の徹底により二重行政の解消や行政の効率化を図るとしています。

支庁制度改革は地方分権改革の視点と行財政改革の2つの視点で行われ、簡素で効率的な支庁の体制整備を行います。この支庁制度改革の進め方として、大きく分けて2段階で取り組まれます。それは過渡的改革と将来的改革で、過渡的改革は、市町村の体制が整うまでの間、将来的に支庁が本来担うべき事務に加えて、市町村へ権限移譲を予定している事務について、移譲が可能となるまでの間を支庁で担う事とし、将来的改革としては、市町村が道州制による基礎的自治体としての体制を整備し、道からの権限移譲を受けた場合は、最終的に支庁は道州行政が最小限担う事務を行う出先機関となります。この新しい支庁機能の基本的な考え方は、支庁の機能を支庁(本体)機能と、地域行政センター機能に分けて整理されています。ここでいう地

域行政センターは、主に将来的には市町村に移譲している事務や道行政の事務のうち支庁本体へ集約化が困難な事務を担う組織であり、市町村への権限移譲が進む事によって順次縮小し、将来的には廃止する事を予定しています。支庁本体機能は、地域の道行政の事務の内集約化可能な事務や所管区域の広域的な調整事務を担う事になるが、道州制の導入などにより基礎的自治体の役割が増すとその殆どの事務が不要になり、最小限の道州行政の事務が残った場合は、現在の総合的な出先機関としてではなく、残った事務を担う出先機関へと移行します。

支庁機能と地域行政センターが担う事務の具体的な区分については、皆さんにお渡しした資料に書かれておりますが、考え方としては、旅券や福祉関係の相談、手続、許認可など将来市町村に権限移譲を予定している道民生活に関わりの深いものは地域行政センターの事務として残しています。また地域の状況を踏まえた支庁の機能として、地域の特殊事情や安全・安心も確保の面から必要な機能は整備されます。「北方領土対策（根室） 火山噴火対策（胆振） 原子力防災（後志）など」

新しい支庁の組織体制のフレームとして組織は4部門制とし、局制を導入して、局に分野ごとの課を配置し、「グループ制」を導入します。現在の支庁出先機関としている保健福祉事務所や土木現業所などについては、支庁の内部組織となります。

新し支庁の所管区域、支庁所在地ですが、支庁の所管区域は地域生活経済圏を基本とし、支庁の所在地は 現在の庁舎を活用する。新しい支庁の区域が現在と同じ場合は、支庁所在地も変更しない。(十勝) 現在の複数の支庁区域を統合して新しい支庁の区域とする場合は、地域生活経済圏の中核都市圏の中心となる都市を所在地とする。具体的な所管区域、支庁所在地としては、現在の支庁を6つの生活経済圏に分け、留萌支庁は道北圏の中の道北支庁（仮称）になります。ただし、現在平成20年度をスタート年度とする「新しい総合計画」の策定作業を進めており、この中で地域生活経済圏のあり方



について検討しておりますので、その結果によっては変更される事もあります。

留萌支庁や宗谷支庁など、現在の支庁所在地となっており、新しい支庁再編によって支庁所在地ではなくなる所については、先ほど述べた地域行政センターを設置して過渡的な機能を担う事になっております。新しい支庁と道民・市町村との関係については、支庁及び地域行政センターと地域住民や市町村との関係は極力重複しないようにしています。また仕事の進め方を工夫簡素化し、市町村などに負担をかけないように配慮しています。

以上が新しい支庁の姿（骨格案）のポイントですが、この支庁制度改革の今後のスケジュールとして道は平成20年度に新しい支庁の体制をスタートさせたいと考えております。ただし、今年は知事選が予定されている事から、最終の結論は知事選後に取りまとめ、その結果を支庁設置条例の改正案として道議会へ提案し、決議を経るなど様々な手続きが必要となるため、スケジュールについては流動的な面もございます。

先週と本日との2週にわたり御招きいただきお話をさせていただきましたが、いかがでしたでしょうか。本日はありがとうございました。

第33回 3月14日(水) 天候/雪

IM実行委員会

日時：平成19年3月7日(水) 場所：留萌産業会館



マージャン愛好会〈3月例会〉

日時：平成19年3月14日(水) 場所：スナック いふ



優勝 遠藤会員 準優勝 渡邊会員 1位 阿部会員

ゴルフ愛好会〈納会・新年会〉

日時：平成19年3月9日(金) 場所：いちばんかん



年間バスグロ 優勝 山本会員